

# 未来は壊れない

清々しい気持ちで新年を迎えることができました。しかし、午後  
に石川県で大きな地震があり、多くの方々が被害にあいました。最  
悪のスタートとなりました。災害は予告なしでやってきます。被災  
者の方の「今後のことは考えられない」という言葉に胸が痛みまし  
た。それでも数日後には、「希望が見えてきた。なくなった家族の  
ためにもしっかり生きよう」という言葉を聞いた時には、「ほっと」  
しました。

さて、過日、子供達の前で「アンパンマン」の脳みそは、「こし  
あん」か「つぶあん」か、というお話をしました。つるつるしてい  
るほうが考えやすいから「こしあん」という子、ブツブツしている  
ほうが脳みそらしいからと考える子もありました。作者のやなせ  
たかしさんは、「つぶあん」としています。その理由は、作者自身  
が、「つぶあんが好き」だということと「しわが多いほうが、たく  
さんの知識があるから」と言っています。アンパンマンは、毎日、  
困っている人がいないかとパトロールをし、的確に対処していき  
ます。これには、注意力、判断力、決断力など様々な能力が必要で  
す。おなかですいている人がいたら、自分の顔をちぎって食べさせ  
るといった優しさも発揮できないかもしれません。

私達は、何事にも最善を尽くそうとする強い意志を持つことが  
できます。そして自分のことばかりではなく、他人を思いやる優し  
さも持っています。石川県の能登半島地震は、道路や建物が壊れま  
した。がけ崩れも起きています。人々の困り感はピークです。それ  
でも、自分の家が被災していても炊き出しをする人、現場で車に泊  
まりこみながら道路を補修する人がいるなど、多くの人が多くの人  
を助けようと一生懸命です。いたるところにアンパンマンが現  
れたといえます。ある本に、「今、地震でメチャクチャに壊れてし  
まっても、未来を壊すことはできない」と書かれてありました。「ア  
ンパンマンも能登の人々も未来をつくるために頑張っている」と  
思いました。できることから「よりよい未来をつくること」を心が  
けていきたいと思えます。

壊れないのだから・・・

校長 古山 雅世

Yanagibashi

令和6年 3月

